

2015 年度

事業報告書

公益財団法人 宇宙科学振興会

2015 年度事業報告書

2015 年度は当財団、宇宙科学振興会が 2012 年 4 月 1 日付で公益財団法人に移行して 4 年目の事業年度であった。当財団の事業目的は宇宙科学に関する事業への援助及び研究助成等を行い、宇宙科学の振興に寄与することである。この目的に沿って行った公益目的事業は、① 宇宙科学奨励賞顕彰事業、② 国際学会出席旅費支援事業、③ 国際学会開催支援事業の 3 事業である。2015 年度においてもこれらの 3 事業をほぼ例年の水準で推進した。従来より施行していた宇宙科学に関する知識の普及・啓蒙活動に関する他団体が中心となって企画・運営された事業への支援・協賛事業は、法人会計の管理費内で継続して実施した。

若手研究者を対象とした 2015 年度の第 8 回宇宙科学奨励賞は、奨励賞選考委員会の選考結果の報告を受け、宇宙理学分野の若手研究者 1 名に宇宙科学奨励賞を授与した。若手およびシニア研究者の海外渡航への支援については関係学会を通じて関係者に周知し、最近では毎年多数の研究者が応募するようになった。日本国内での国際学会主催の支援も近年は助成希望が増加したので、上半期開催分と下半期開催分の 2 回に分けて公募と審査をおこない、予算の限度内で支援を実施した。

当法人の管理・運営は極めて経費を節減した方法ながら、関係者の協力の下で順調に進められた。

I. 公益目的事業

(1) 宇宙科学奨励賞

宇宙科学奨励賞は、宇宙理学・宇宙工学の分野で優れた研究業績をあげ将来宇宙科学推進の中心となることが期待される若い研究者を顕彰し、宇宙科学分野の進展に寄与することを目的として、当公益財団法人の前身の財団法人において 2008 年度に創設された。この事業ではまず関係学会（2015 年度現在は 15 学会）の研究者に候補者の推薦を依頼し、宇宙科学各分野の当該年度 4 月 2 日時点で 37 歳以下の若手研究者（この年齢制限は大学院修了後約 10 年間を目途とするとの趣旨）のうちで最近著しい成果を挙げている若手研究者を推薦していただく。寄せられた推薦に基づいて、各分野の有識者で構成される選考委員会により候補者の審査・選考を進める。選考委員会は原則として宇宙工学関係から 1 名、宇宙理学関係から 1 名、合計 2 名の候補者を選出する。理事長は理事会の委任によりその選考委員会の推薦に基づいて当該年度の授賞者の承認決裁を行う。

2015 年度は第 8 回目となるが、受賞者には賞状、表彰楯の他に副賞 30 万円が授与される。今年度は関係の各分野の研究者から、理学系 9 名、工学系 3 名、合わせて 12 名の授賞候補者の推薦を受けた。2015 年 11 月 20 日に第 1 回、2015 年 12 月 21 日に第 2 回の選考委員会が開催され、その間及びその後のメール連絡を含めて審査選考が行われた。選考委員会において審査の結果、理学分野の NASA ゴダードスペースフライトセンター・研究員 メリーランド大学カレッジパーク校・助教（兼任）山口弘悦（やまぐち ひろや）氏（35 歳）に対して、その研究題目「「すざく」衛星を用いた Ia 型超新星の起源解明と、宇宙における非平衡プラズマ物理

学の開拓」を対象として、第8回宇宙科学奨励賞を授与することとなった。

表彰式は2016年3月10日に霞が関ビル東海大学校友会館において約50名の出席者を得て開催され、山口弘悦氏には松尾理事長より本賞（賞状と表彰楯）と共に副賞（賞金30万円）が贈呈された。当日は引き続き山口弘悦氏による受賞記念講演が行われ、その後財団主催の祝賀会が開かれた。

（2）若手及びシニア国際学会出席旅費支援事業

この事業は当財団が公益財団法人に移行する前の旧財団法人により 1997 年度に創設された。当初より宇宙理学及び宇宙工学に関する独創的・先駆的な研究活動を行っている当該年度 4 月 2 日時点で 35 歳以下の優れた若手研究者に対して、海外で開催される国際学会に出席する費用の支援を行ってきた。2006 年度以降は、大学や研究機関などを退職後も、活発な研究活動を行っている 63 歳以上のシニア研究者に対しても、支援を行っている。

国際学会出席旅費支援の申請は当財団の研究助成審査委員会において採否が審査される。従来応募総数に対する採択率は平均して 3 分の 1 程度である。審査の結果採択された助成対象者は、その発表論文テーマ、国際会議名、開催場所、日時等の情報とともに財団のホームページに公表される。渡航後には国際会議で発表の成果についての報告書を渡航 1 ヶ月内に提出頂き、提出された報告書は財団のホームページに掲載される。

本年度前期に当たる 2015 年 4 月～9 月の渡航を対象とする国際学会に対しては、前年度の 2015 年 2 月 28 日に応募を締め切っている。また本年度後期に当たる 2015 年 10 月～2016 年 3 月の渡航を対象とする国際学会に対しては、2015 年 8 月 31 日に応募を締め切った。また次年度前期に当たる 2016 年 4 月～9 月の渡航を対象とする国際学会に対しては 2016 年 2 月 29 日に応募を締め切った。

本年度の公募は、財団の公式ホームページの他に関係 15 学会の学会誌または学会ホームページを通じて通知された。採択者には 1 件当たり 10 万円～25 万円の範囲で助成を行うこととしており、2015 年度の予算では 10～15 件程度の国際学会出席旅費支援を予定したが、2 月 28 日締切りの応募に対し 8 件、8 月 31 日締め切りの応募に対し 2 件、合計 10 件（応募者総数 22 件、採択率約 45%）が採択された。ただし、採択後他機関の助成を受けることが決まったため辞退したケースが 2 件あった。辞退者以外の 8 名の採択者には公示の枠内（1 件当たり 10～25 万円）で渡航先、開催期間・渡航時期に基づいて算定された助成金が支給された。2015 年度においては本事業の助成金予算額 200 万円であったのに対して実施助成金額合計は 148 万円であった。表 1 に 2015 年 2 月 28 日及び 8 月 31 日締切りで募集し、2015 年度に実施した国際学会出席旅費支援 8 件及び辞退の 2 件の一覧を示す。助成を受けた採択者の国際学会参加・発表の成果の報告は財団のホームページに記載されている。

表 1 2015 年度 国際学会旅費支援 助成支援者一覧

所 属	氏 名	国際研究集会の名称	主催団体	開催地	期 間
宇宙航空研究開発機構 プロジェクト研究員	ソーケン ハリル エルシン Soken Halil Ersin	欧州航法誘導制御学会 2015 The European Aerospace Guidance Navigation Control Conference 2015	Council of European Aerospace Societies	トゥールーズ、 フランス	2015.4.13 ～15
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 東京大学 博士課程 3年	ハギノ コウイチ 萩野 浩一	相対論的ジェット:生成、ダイ ナミクスおよび内部の物理 Relativistic Jets: Creation, Dynamics, and Internal Physics	Jagiellonian University	クラクフ、 ポーランド	2015.4.20 ～24
名古屋大学 太陽地球環 境研究所 日本学術振興会特別研 究員	キタムラ ナリシ 北村 成寿	第 26 回国際測地学・地球 物理学連合総会 26th International Union of Geodesy and Geophysics General Assembly	International Union of Geodesy and Geophysics	プラハ、 チェコ共和国	2015.6.22 ～7.2
東京大学大学院 工学系 研究科 航空宇宙工学専攻 博 士 1年	イ ドンフィ 李 東輝	9th International Symposium on Turbulence and Shear Flow Phenomena	TSFP Symposium Committee	メルボルン、 オーストラリア	2015.6.30 ～7.3
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教	トベ ヒロフミ 戸部 裕史	第 13 回チタン世界会議 The 13th World Conference on Titanium	The Minerals, Metals & Materials Society	サンディエゴ、 アメリカ合衆国	2015.8.16 ～20
神戸大学大学院理学研 究科 地球惑星科学専攻 助教	ヤスイ ミナミ 保井 みなみ	国際天文学連合 第 29 回総 会 IAU XXIX General Assembly	国際天文学連 合	ホノルル、ハワ イ	2015.8.3 ～14
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 プロジェクト研究員	マツモト タクマ 松本 琢磨	第 9 回ひので科学会議 Hinode 9 Science Meeting	JAXA/ESA/ NASA	ベルファスト、 アイルランド	2015.9.14 ～18
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 プロジェクト研究員	イダ ユウスケ 飯田 佑輔	第 9 回ひので科学会議 Hinode 9 Science Meeting	Hinode-9 Organizing committee	ベルファスト、 アイルランド	2015.9.14 ～18

辞退者 2 件

東京大学大学院 工学系 研究科 博士課程 3年	カワシマ レイ 川嶋 嶺	米国航空宇宙学会 科学技術 フォーラム AIAA Science and Technology Forum 2016	米国航空宇宙 学会	サンディエゴ・ アメリカ合衆国	2016.1.4 ～8
早稲田大学大学院 基 幹理工学研究科 博士課程 2年	アダチ マ サト 安達 真聡	AIAA Science and Technology Forum and Exposition (AIAA SciTech 2016)	米国航空宇宙 学会	サンディエゴ・ アメリカ合衆国	2016.1.4 ～8

(3) 国際学会・国際研究集会開催の支援事業

宇宙科学分野（宇宙理学、宇宙工学）の国際学会・研究集会を日本国内で開催する組織・団体に対する支援は前身の財団法人宇宙科学振興会の創設（1990年）当初より行われてきた。ただし、当初は宇宙科学分野の国際学会・国際研究集会の主催は宇宙科学研究所の研究者が行うことが多かったので、全国公募ではなく宇宙科学研究所内部の研究者または衛星プロジェクトなどで宇宙科学研究所と共同研究を進めている各大学の研究者を対象とする内部応募の形式となっていた。その後この助成事業に対し全国的に関心・期待が高まってきたことを受け、2007年度よりこれを宇宙科学研究所の事業に限らず理論的研究等も含めて、全国の研究機関・大学において宇宙理工学に関する国際学会・研究集会を主催する場合には広く応募できるように、全国の研究機関・大学を対象とした公募型事業に発展させてきた。公益財団法人宇宙科学振興会に移行した後においてもこの事業を継続している。

国際学会・国際研究集会開催の支援の申請は、国際学会出席旅費支援の申請と同様、当財団の研究助成審査委員会において採否が審査される。従来応募総数に対する採択率は平均して2分の1程度である。昨年度までは年度の上半期（4月～9月）開催分の応募の締め切りを前年度1月15日、下半期（10月～3月）開催分の応募申請の締め切りを8月31日として実施してきたが、今年度からは年度の上半期（4月～9月）開催分の応募の締め切りは前年度2月末日としている。

本年度前期に当たる2015年4月～9月に開催する国際学会・国際研究集会に対しては、前年度の2015年1月15日に応募を締め切った。また本年度後期に当たる2015年10月～2016年3月に開催する国際学会・国際研究集会に対しては、2015年8月31日に応募を締め切った。また次年度前期に当たる2016年4月～9月に開催する国際学会・国際研究集会に対しては2016年2月29日に応募を締め切った。

本年度の公募は、財団の公式ホームページの他に関係15学会の学会誌または学会ホームページを通じて通知された。採択された国際学会・国際研究集会に対し、1件当たり30～50万円の範囲で助成を行うこととしており、2015年度の予算では3～5件程度の国際学会・国際研究集会開催支援を予定したが、1月15日締め切りの応募に対し3件、8月31日締め切りの応募に対し1件、合計4件（応募件数7件、採択率約60%）が採択された。2015年度に支援を実施した国際学会・国際研究集会4件の一覧を表2に示す。この支援事業に対する2015年度の助成予算額150万円のところ、実施助成額は140万円であった。各国際学会・国際研究集会開催の状況や成果の概要は財団のホームページに掲載されている。

表2 2015年度 国際学会開催支援 助成支援学会一覧

所 属	申請者	国際研究集会の 名称	主催団体	開催地	開催期間
大阪市立大学大学院医学研究科 遺伝子制御学 教授	モリタ タカシ 森田 隆	国際宇宙放射線重粒子線治 療シンポジウム 2015	日本宇宙放射 線研究会 (JASRR)	大阪市立大 学 医学部	2015/5/22 ～24
首都大学東京 システムデザイン研究科/専攻 航空宇宙システム工学域 教授	アラカワ ヨシヒロ 荒川 義博	第 34 回国際電気推進会議	Electric Rocket Propulsion Society: ERPS	神戸国際会 議場	2015/7/4 ～10
独立行政法人理化学研究所	イシカワ マサミチ 石川 正道	第 6 回宇宙物理学国際シン ポジウムおよび宇宙および地 上応用を目指した気液二相 システムに関する国際会議	日本マイクログ ラビティ応用学 会、宇宙航空研 究開発機構、 ITTW 組織委員 会	同志社大学 室町キャン パス 寒梅館	2015/9/14 ～18
一般財団法人測位航法学会 代表理事 会長	ヤスタ アキオ 安田 明生	GNSS 国際シンポジウム 2015 IS-GNSS 2015	IS-GNSS 2015 組織委員会	京都勧業館 「みやこめっ せ」	2015.11.16 ～19

なお、公益目的事業(1)～(3)の 2015 年度の事業別応募採択数を、参考資料として本報告書に添付している。

II. 財団の管理運営

現在当財団は神奈川県相模原市に所在する国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所内に一室を借用しこれを事務室として、非常勤事務局長 1 名、非常勤事務職員 2 名の計 3 名体制で財団の管理運営を行っている。なお、2015 年 7 月から 2016 年 3 月までは非常勤事務局長補佐 1 名も管理運営に参加した。

(1) 宇宙科学に関する知識の普及・啓蒙事業

当財団が一般支援事業として行っている本事業の目的は広く一般国民に対して宇宙科学に関する知識を普及するとともに、若手青少年の宇宙科学に関する興味・関心を深め、宇宙科学の将来の発展に寄与することである。本事業は一般国民、青少年を対象に同様の目的で活動する他団体と連携して行う。

2015年度に一般支援を行なった支援先は表3に示す通りである。本事業は他の組織・団体が企画・運営の中心になっている事業への支援であるため、公益財団法人への移行後は管理費（法人会計）から支出することとした。2015年度の支援額は約70万円であった。

表3 2015年度 啓蒙普及目的の一般支援一覧表

支援内容	支援先
第30回宇宙技術及び科学の国際シンポジウム ISTS 7/4 開催	一般社団法人日本航空宇宙学会
2015年度 JAXA 相模原キャンパス特別公開 スタンプラリー景品代 7/24、25 開催	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
第27回 モデルロケット全国大会助成金 10/3 開催	日本モデルロケット協会
第23回 衛星設計コンテスト協賛金 11/4 開催	一般財団法人日本宇宙フォーラム
第11回 能代宇宙イベント 8/13-21 開催	一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム

(2) 基本財産の現況と運用

2015年度末における基本財産総額は約4億5,606万円であり、基本財産の運用に伴う果実は約1,062万円（約2.33%）となり、前年度実績より約18万円の増加となった。

(3) 賛助会員の加入状況

2015年度の会員数は、12法人（25口※）であった。（※ 1口10万円）

(4) 理事会、評議員会の開催

2015年度には次の通り理事会、評議員会を開催した。

- ・2015年5月25日：宇宙科学研究所（4階会議室1432号室）において第9回理事会を開催し、「2014年度事業報告及び財務諸表等計算書類承認の件」、他10議案について審議・承認を行った。
- ・2015年6月11日：東海大学校友会館（霞の間）において第5回評議員会を開催し、「2014年度事業報告及び財務諸表等計算書類承認の件」、他3議案について審議・承認を行った。

認を行った。

- 2015年6月11日：東海大学校友会館（霞の間）において第10回理事会を開催し、本期理事会の理事長および常務理事の互選を行った。
- 2015年8月25日：書面による第6回評議員会を開催し、評議員会長を選出した。
- 2015年9月12日：書面による第11回理事会を開催し、「理事会招集に関する定款第7章第34条第4項の再改正の件」及「理事会招集に関する理事会運営規則第6条第3項の再改正の件」について審議・承認を行った。
- 2015年9月12日：書面による第7回評議員会を開催し、「理事会招集に関する定款第7章第34条第4項の再改正の件」について審議・承認を行った。
- 2016年3月10日：東海大学校友会館（霞の間）において第12回理事会を開催し、「2016年度事業計画及び収支予算案提案の件」、他6議案について審議・承認を行った。

Ⅲ. 附属明細書について

2015年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上

(参考資料)

2015年度 事業別応募採択数 (公募年度で集計)

(2015年4月～2016年3月)

1) 宇宙科学奨励賞

	応募申請 (件)	採択 (件)	採択額 (¥)
10/31締切	12 (理9・工3)	1	300,000

2) 国際学会旅費支援

	応募申請 (件)	採択 (件)	採択額 (¥)
8/31締切	8	2	400,000
2/29締切	12	6	920,000
計	20	8	1,320,000

3) 国際学会開催支援

	応募申請 (件)	採択 (件)	採択額 (¥)
8/31締切	1	1	400,000
2/29締切	0	0	0
計	1	1	400,000